

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	4		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	1	1	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	2	1	1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・以前同様、職員が、厳しい自己判断をされている。
- ・職員の平均的な介助力を付けて頂きたい。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

職員全員が把握し取組み、ケアの向上、職員のスキルアップを希望し、職員全員が同じ様なレベルの対応をお願いしたい。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

職員全員が利用者1人1人の状況を把握・情報共有がより円滑にできる仕組み、全員が共有し、誰もが同じ介助・対応が出来るようにお願いしたい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・職員全員の自己評価に対しての取組みは確認する事ができている。
- ・自分に対しての評価が低い。

【改善計画】※後日記

- ・職員にどのようなスキルが足りてないか、何が必要か明確にし、今後のスキルアップに繋げる。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2	1	1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	4		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所に来ると、職員がきちんと挨拶ができており、とても、明るく居心地がよくい。
- ・玄関にはカギはかかっておらず開放的である。
- ・事業所へは知らなければ、まだまだ入りやすいとは言えない。

【前回の改善計画】

高評価を維持するため、職員全員が日々の清掃、整理整頓、来客者への挨拶、対応を行う。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・お茶の木を植え新茶の時期になると職員・利用者一緒に茶摘みを行い、かりん茶を作っており、利用者ご家族や近隣の方にお配りさせて頂いている。

【今回の改善計画】※後日記入

今後も変わらず、日々の挨拶はもちろんの事、明るい施設でいられるように心がける。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		2
1	職員はあいさつできていますか？	4		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・職員の挨拶はしっかり出来ている。
- ・松本地区の敬老会や松本地区のお祭り、職員や利用者様も参加され、周知できている。
- ・地域の行事にもっと、職員、利用者様が参加できるとよい。

【前回の改善計画】

- ・地域の行事（文化祭、祭り等）だけではなく、清掃等の地域の活動に議員、利用者様が共に参加する。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・広報などで地域の情報を把握し地域の活動などに参加して、地域との繋がりをつくる。

【改善計画】※後日記入

地域活動への参加を促していく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1		3
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3	1	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3		1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 毎年の地域行事（敬老会、お祭り等）イベントにも参加している。
- ・ 地域の心配な方や、介護の必要と思われる方等の情報があれば関わっていく。
- ・ 日頃から、天気の良い日は近隣の散策や、ドライブ外出を心がけ、利用者様の気分転換につなげる。

【前回の改善計画】

地域で介護が必要な方、助けが必要な方の情報が入れば必要に応じてケアマネージャー、管理者が対応する。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・ 地域との連携はとれた来ているが、今より更なるつながりを作って行きたい。
- ・ 地域包括との連携もいま以上に行っていきたい。

【改善計画】※後日記入

地域との連携を生かし、近隣住人の情報共有に努め、地域を支えていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？		1	3
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	3	1	
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？		1	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	2	1	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	1	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議を通して、毎回事業所の状況、取組みが説明されている。
- ・情報報告だけでなく、知ってもらいたい事地域への提案も継続していきたい。

【前回の改善計画】

- ・運営推進会議の中で事務所の現況と今後の予定の報告だけではなく、1つのテーマを取り上げて話し合い、意見交換する。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・防災について、地域の人たちと協力していく事も検討。
- ・

【改善計画】※後日記入

報告だけでなく、毎回違うテーマで、皆様と情報を共有していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1		3
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？		3	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	2	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		4	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	1		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・防災マニュアルについては利用者様のご家族も周知していくような取り組みも必要ではないのか。
- ・事業所の防災訓練にご家族の方が参加して頂くのはなかなか難しいが、今後、参加して頂ける取り組みを検討。
- ・地域の防災訓練に参加していけるように、地域との話し合いも必要。

【前回の改善計画】

- ・年2回の防災訓練の詳しい実施状況、内容を運営推進会議で報告。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・防災マニュアルは常に新しい物であるよう、年に1度は内容の確認をして更新しておく。
- ・災害時のご家族への連絡方法や確認方法を明確にしておく。
- ・災害時施設での食品や生活用品のストックを明確にしておき期限なども確認しておくことが必要と思われる。

【改善計画】※後日記入

防犯・防災に関して、もっと家族への周知を行っていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 弘仁会	代表者	清水千枝	法人・ 事業所 の特徴	介護が必要になっても自宅に住み、家族の親しい人々と不安のない生活を送りたいという方々の願いを支えていきます。24時間、365日の暮らしを切れ目なく支え、日中の通い、一時的な宿泊、緊急時や夜間の訪問等のサービスを必要に応じて、同じスタッフが対応させて頂いています。
事業所名	小規模多機能ホーム かりんの花	管理者	望月 覚		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	2人	人	人	4人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	常勤者だけでなく非常勤職員も自己評価に取り組んでいることが確認でき、自分に対して厳しく評価している職員が多い。	改善計画は職員全員が把握し取り組み、ケアの向上、職員のスキルアップを目指す。	職員全員が同じくらいのスキルがあって欲しい。	全職員が同じ様な対応が出来るよう、皆で確認しながら、スキルアップに努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	職員全員がきちんと挨拶ができ、事業所に入ると、いつも明るい声がか聞こえる。	高評価を維持するため、職員全員が日々の清掃、整理整頓、来客者への挨拶、対応を行う。	職員全員、挨拶は良くできているし、皆が元気で働いている。	今後も変わらず、日々の挨拶はもちろんの事、明るい施設でいられるように心がける。
C. 事業所と地域のかかわり	職員の挨拶がきちんとできている。何か困ったこと、相談したいことがあったらケアマネージャーに連絡してすぐに対応してもらっている。	地域の行事（文化祭、祭り等）だけではなく、清掃等の地域の活動に職員、利用者様が共に参加する。	施設になかなか入って来づらいつい感じもある。	地域活動への参加を促していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今後、地域で1人暮らしの方や身寄りがない方を地域で支えていく必要がある。	地域で介護が必要な方、助けが必要な方の情報が入れば必要に応じてケアマネージャー、管理者が対応する。	どのように相談をしてよいかわからない事がある。	地域との連携を生かし、近隣住人の情報共有に努め、地域を支えていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で事業所の現状報告だけでなく、地域の心配な方の事例検討等、テーマを決めて話し合ってみてはどうか。	運営推進会議の中で事業所の現状と今後の予定の報告だけではなく、1つのテーマを取り上げて話し合い、意見交換する。	実際にはどのような事を行っているのか分からない事が多く、小規模・GHの違いも分からない。	報告だけでなく、毎回違うテーマで皆さんと情報を共有していく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災マニュアルについては利用者様のご家族も周知していた方が安心する。	年2回の防災訓練の詳しい実施状況、内容を運営推進会議で報告する。	災害に対しての取り組みなど分からないし、今後明確にしたい。	防犯・防災に関して、もっとご家族への周知を行っていく。